

かんと
漢人あきこの
市議会レポート No.121



●市民自治こがねい 小金井市本町2-19-36 Tel/Fax 042-316-1619
 ●小金井市議会 みどり・市民ネット 本町6-6-3 Tel.042-383-1111

【報告】第2回定例会 6/1-28

新市長による初定例議会は会期延長して6月28日未明に終了。

佐藤市長の初めての施政方針に対しては、2日間にわたって全議員が質問。市長のていねいな答弁は好印象でした。一方で、市長選での公約や主張を巡る同じ質問が、何度も何度も繰り返されるなど、議会の「質」的な課題も明らかに。議会運営委員会で始まった議会基本条例の策定にもご注目を！

〈主な議案〉

●一般会計補正予算

二つの芸術文化事業の賛否が分かれ、市長は削除する訂正を求めましたが認められませんでした。

●市長の給与20%カット & 退職金を支給しない条例

市長選の公約に基づく、佐藤市長の任期中に限定した提案でしたが、委員会で継続審査となりました。

原発なくても ダイジョウブ!

311大地震と原発事故による甚大な被害をもって、日本の原発はやっと廃炉への道を歩み始めました。世論調査では8割が脱原発を支持し、7月13日には日本の総理大臣が初めて「脱原発」を宣言しました。巨大な原発利権によって隠されてきたウソやゴマカシも次々に明らかになっています。揺り戻しも予想されますが、脱原発、絶対に実現しましょう。

安全に廃炉への工程が進んだとしても、放射能汚染は何十年も続きます。汚染の実態も健康への影響もまだ定かでない放射能から子どもたちを守ろうと、議会にはたくさんの陳情が出され採択されました。この新たな環境リスクとつきあっていくための知恵とネットワークが必要です。

佐藤市長と与野党のない議会スタート

30年以上続いた自民党市長にかわって難問山積の市役所に単身のりこんだのですから、佐藤カラーをだすのも容易ではありません。6月議会は選挙中のごみ問題の表現に関して「市長の猛省を求める決議」を可決して終わりました。「市政を変える」には市民の応援が必須です。

◆気になる議案の採決結果 ○賛成 ×反対 △退席 ○数字は人数 議長は可否同数の時以外は採決に加わりません	みどり・市民ネット ⑤						共産 ④	民・社 ④	公明 ④	自民 ④	改革 ①	こ市民 ①
	漢人	片山	田頭	青木	野見山	渡辺						
2011年度一般会計補正予算(第2回) 可決	○	○	○	○		×	×	○	○	○	○	×
教育委員(向井一身さん)の任命 同意	○	○	○	○	議	○	×	○ ³ × ¹	△	○ ³ × ¹	△	○
当面の電力需給対策に関する意見書 可決	×	×	×	×	長	×	○	○	○	○	○	○
福島原発事故による放射能汚染地域の早急な被ばく検査体制の整備と対策を求める意見書 否決	○	○	○	○		○	△	×	×	△	×	○

共産党/森戸 関根 水上 板倉 民主党・社民クラブ/村山 武井 宮崎 鈴木 公明党/宮下 紀 小林 渡辺
 自民党/遠藤 中根 露口 中山 改革連合/篠原 ことがねい市民会議/斉藤 (敬称略)



1960年生れ/緑町在住
建設環境委員/議会運営委員/庁舎建設等
調査特別委員
市民自治こがねい共同代表/みどり三多摩
共同代表/みどりの未来運営委員長

漢人の一般質問から

①放射能汚染への市の対応

小金井市では1986年のチェルノブイリ原発事故後に食品の放射能測定器を購入し、現在も市民団体が測定を続けています。311の福島原発事故に関する政府発表は信用できる状況ではないし、放射能汚染は深刻です。消費者が農薬や添加物などと同様に、安全基準値以下でもより放射能汚染が少ない食品を選ぶのは当然のこと。風評ではなく実害として東電・国が補償するべきなのです。国の発表に頼らず、市民が知りたいデータを提供する身近な測定器は、ますます重要です。

⇒佐藤市長「測定器を活用して給食測定を前倒しで行う。測定室HPのデータ公表は、市民の不安を払拭するためにわかりやすい前提や注釈の付記をお願いしたい」

②市役所改革の推進を

1) 官製ワーキングプアの改善に向けて、非常勤職員の待遇改善スピードアップを

⇒佐藤市長「公約でもあり着実に進める」

2) 市議会議員の報酬も特別職報酬審議会に諮問し、定期的に検証するべきではないか

⇒佐藤市長「議会の意見を聞かなければならないが、市民の理解を得られるように、検討したい」

3) 審議会等の委員への議員の委嘱を見直さないか。委嘱するなら無報酬にするべきではないか

⇒佐藤市長「よく研究して方針を示したい」

東小金井駅ラインモール&西口改札

JRから東小金井駅高架下に大規模店舗をつくる図面が4月に、そこに直結する西口改札の計画が5月に示されました。一見便利な計画ですが、一方で地元商店への壊滅的な打撃となります。駅にしかお店がなくなったら、本当に困るのは市民です。議会も市長も見直しを求めています。

前提が間違っているので反対討論しました。

当面の電力需給対策に関する意見書

(表面参照)

「浜岡原発の停止要請により夏場の電力不足が全国的な問題に発展している」とあるのは間違いです。中部電力の原発への依存率は約10%と低く、浜岡原発を停止しても十分な電力供給が見込めるし、全ての原発を停止しても電力は足りると複数のNGOが試算を発表しています。

ついでに、原発が「安い」のは燃料採掘も、廃棄物処理も、事故補償費用も含んでいないからです。



2010年度 漢人の収支報告

<収入> 議員報酬 (小金井市)	8,202,600
<支出> 税・国民年金・国民健康保険	1,401,368
共済 (議員年金)	1,114,875
市民自治こがねい会費・寄付	920,000
漢人あきこと自治する会寄付	400,000
生活費・活動費など	4,366,357
計	8,202,600

★土地開発公社評議員報酬 40,000
→議員が市長のつくる審議会などの委員になるのも、その委員報酬をもらうのもやめるべきです。見直しを求めて受取拒否し、法務局に供託しています

★★政務調査費 360,000
→一人月3万円。議員の調査研究活動への市の補助金

*前年までの収支はホームページ参照

議会の日程

7/7(木) 議会運営委員会	
12(火) 建設環境委員会	*詳しくは議会事務局
20(水) 議会運営委員会	042-387-9947へ
8/2(火) 総務企画委員会	
9(火) ごみ処理施設建設等調査特別委員会	
19(金) 議会運営委員会	
23(火) 庁舎建設等調査特別委員会	
24(水) 厚生文教委員会	
25(木) 議会運営委員会	14:00~
30(火) 第3回定例会開会・本会議	

■漢人あきこと片山かおるは、市民グループ「市民自治こがねい」と一緒に活動しています。市民による政策提言や問題提起をすすめる誰でも参加自由の集まりです。季刊「散歩だより」次号は「311後の小金井の暮らし」特集です。

■議会では「みどり・市民ネット」という会派をつくっています。「市民参加と情報公開による市民本位の市政の実現のために市民にわかりやすく開かれた議会をめざし、地方分権時代にふさわしい意思決定・チェック機能として議会を活性化」「それぞれの政治的立場や見解の違いを尊重」などを基本姿勢としています。